

かすが 議会だより

今年だよりは市民とともに

2024年
5月15日

No.217

かすかの
写真募集中

12月

3月

定例会は
年に4回

9月

6月

令和 6 年

3月定例会

もくじ

- 2 令和6年度予算を議会がチェック!
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 3月定例会での議案審査
- 9 14人の議員が一般質問
- 13 定例会の視点・論点
- 15 令和5年の議会評価のお知らせ

ギカイを見に行こう!



HP



Facebook



Instagram

[第35回福岡地区スポーツ少年団
駅伝交流大会優勝!!]

撮影者 うらた ともこ 浦田 智子さん

撮影場所 春日公園

撮影者の紹介は P16へ

1月に臨時会がありました



令和6年度一般会計補正予算(第1号)は、住民税所得割非課税世帯等給付金給付事業費、プレミアム付き商品券助成事業費などを増額、双葉市営住宅建替事業費を減額するものです。

【付託議案】

- ・令和6年度一般会計予算
- ・令和6年度一般会計補正予算(第1号)



令和
6年度

予算を議会がチェック！

3月定例会では、議員全員による予算審査特別委員会(松尾徳晴委員長)を設置し、付託された2件の予算案件について5日間にわたり審査を行いました。

新規 統合型校務システムを導入 1,544万円

教員の業務効率化を推進し、児童生徒に向き合う時間を確保するため、統合型校務システムを福岡県内複数市町村による団体で共同調達する。

新規 地球温暖化対策実行計画の策定 923万円



地球温暖化対策推進法が改正されたことに伴い、春日市地球温暖化対策実行計画の見直しを行う。

継続 子育て支援アプリ機能の拡充 1,231万円

子育て支援アプリ「春っこ(母子モ)」に新たな機能を追加。小児予防接種歴や乳幼児健康診査の結果を保護者・医療機関・自治体で共有できるようにする。



新規 洪水ハザードマップの作成 424万円

想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域対応のハザードマップを作成。市民へ注意喚起を促し、防災意識の向上や防災対策を進める。

継続 施設介護等給付 20億458万円

障がい者等が日常生活または社会生活を営むことができるよう、施設にて介護を受ける費用を給付する。対前年度増減 +184,796千円(+10.2%)。

継続 こども医療費の拡充 8億4,396万円

- ・こども医療の対象を18歳まで拡充
- ・3歳以上の一部自己負担金を全年齢で無料化。
- ・重度障害者医療及びひとり親家庭等医療の18歳までの一部自己負担金を無料化。



本会議の
各討論はこちら



本会議での
討論

賛成討論を行った議員

- ・原 克巳 議員 ・米丸 貴浩 議員 ・西村 澄子 議員

反対討論を行った議員

- ・有村 博 議員 ・吉居 恭子 議員

令和6年度の一般会計予算は
404億6,478万7千円
(対前年度比13.1%増)
※令和6年度一般会計補正予算(第1号)で
1億45万3千円が減額されています。



予算の重点的な取組をピックアップ

新規 コミュニティバスやよい70歳以上の運賃無償化 564万円

高齢者の交通の利便性向上を目的に、70歳以上の高齢者のコミュニティバス「やよい」の運賃を無料化する。564万円は、運行補助金のうち70歳以上無償化システム導入費用。



継続 市中央部市民活動交流拠点の整備 1億5,486万円

「春日新50年プラン」の事業として、市中央部エリアに市内福祉施設等を移転集約した複合施設を整備すること等を通じて、同エリアを誰もが行きやすく行きたくなるエリアとし、市民活動と交流の拠点づくりを強化推進する。



令和6年度は、複合施設整備及び周辺整備工事の基本設計、コミュニティバスの仮設バスセンター設置工事の設計業務等を実施。



3月定例会 議決結果一覧

令和 6 年第 1 回（3 月）定例会 件 名		掲載 ページ	議決 結果	賛成	反対	公明党				創政会			春陽会	翔春会	春令会	さんかく春日	会派に所属 しない議員					
						◎高橋裕子	原山克巳	森五月	佐藤誠之	◎松尾徳晴	米丸貴浩	奈須純子	◎内野明浩	◎船久保信昭	◎迫賢二	◎西村澄子	岩淵穰	◎西川文代	北田 織	中村孝三	吉居恭子	田中隆志
人事	筑紫公平委員会委員の選任	8	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦	8	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃止例	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の給与に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	春日市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例	7	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
	こども医療費の支給に関する条例等	7	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険条例	－	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
	都市公園条例	6	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市営住宅条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業の設置等に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算	令和5年度一般会計補正予算(第12号)	6	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)		－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度下水道事業会計補正予算(第4号)		－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計予算		2	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
令和6年度国民健康保険事業特別会計予算		4	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算		4	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
令和6年度介護保険事業特別会計予算		4	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
令和6年度下水道事業会計予算		4	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計補正予算(第1号)	2	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	財産の取得	8	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の認定	－	承認	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
提議 出員	予算審査特別委員会の設置	－	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見 書	若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	13	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不登校児童生徒の教育の機会の確保を求める意見書	13	否決	8	11	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	13	否決	7	12	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●
決議	イスラエル・パレスチナにおける人道的な停戦等の実現に関する決議	13	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※中原智昭議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。

※◎は会派代表者 (○賛成 ●反対)

市民共生
委員会

後期高齢者
医療事業



当初予算額 18億3,310万9千円
対前年度比 +1億7,662万9千円(+10.7%)

ポイント

歳入

保険料の収入が増額

歳出

広域連合納付金が増額

共に、被保険者数の増加・
保険料率の改定により増額



総務企画
委員会

下水道
事業



収益的収入 23億5,956万1千円

収益的支出 19億8,050万1千円

資本的収入 4億1,392万7千円

資本的支出 13億9,327万4千円

ポイント

資本的収入が資本的支出に対し不足する額については、以下で補填されている。
(当年度分)

- ・消費税及び地方消費税
- 資本的収支調整額……3,054万8千円
- ・減債積立金……4億3,493万8千円

(過年度分)

- ・損益勘定留保資金…5億1,386万1千円

問

下水道使用料について、このままの金額で大丈夫かという懸念があるがどうか。

答

これだけ燃料等が高騰している状況で、下水道使用料が将来に渡ってこのままでいいのかという検証が必要なのは認識している。今年度、総務省のアドバイザー制度を活用して、公認会計士と下水道使用料について検証を行ったところである。令和8年度に経営戦略を見直す予定としており、現在、その準備を進めているところである。

市民共生
委員会

国民健康
保険事業



当初予算額 102億3,121万7千円
対前年度比 -1億1,210万4千円(-1.1%)

問

令和6年度は集団健診より個別健診に予算が多く計上されているが、今後は個別健診にシフトしていく考えなのか。

答

かかりつけ医を持つことを推奨していることから、個別健診を増やしたいと考えている。また、実績としても集団健診が減ってきている。

問

重症化予防対策専門職謝金の予算額が半分になっているが、その背景はなにか。

答

高齢課に予算を一元化したためである。サービス内容の変更はない。



市民共生
委員会

介護保険
事業



当初予算額 79億7,487万5千円
対前年度比 +2億8,439万5千円(+3.7%)

問

給付適正化計画は、これまでとどこが変わったのか。

答

現在も事業を行っており、新たに何かを始めるわけではないが、介護給付費通知については、費用対効果が定かではないため廃止することとした。

問

自立支援重度化防止に向けてケアマネジメントに係るガイドラインを作成し、市内の介護支援専門員に共有した結果をどのように評価しての予算計上なのか。

答

ガイドラインを配布した効果を十分に評価できていないのが実情である。会議に関しては、専門の方々の視点において、アドバイスをいただき、ケアプランに反映させるために、より多くの介護支援専門員に参加していただきたい。



特別会計・事業会計

付託された常任委員会において、各特別会計・事業会計の令和6年度当初予算に係る審査が行われました。

国民健康保険税条例の一部改正

適正かつ安定的な国民健康保険の運営確保のため、
国民健康保険税の税率を改定

医療の高度化に伴い保険給付費の増加が予想されている。改正を引き延ばすことにより、後年度の改定幅が大きくなる可能性を懸念し、今回改正となった。

なお、委員会では附帯決議が提出され賛成多数で可決した。内容は、後年度の税率改定幅が大きくなり、更なる医療費適正化と健康づくり施策の実施を求めるもの。

【附帯決議とは】

上程された議案に対する執行上の要望、留意事項などを委員会の意志としてまとめたもの。ただし、地方自治法、条例等で認めたものではなく、法的拘束力はない。

変更
こう変わります

年 度	基礎課税(医療)分			後期高齢者支援金等課税分			介護納付金課税分	
	所得割率	均等割額	平等割額	所得割率	均等割額	平等割額	所得割率	均等割額
令和5年度(現行税率)	6.80%	26,433円	25,159円	2.51%	9,212円	8,769円	2.36%	16,899円
令和6年度(標準保険税率)	6.52%	27,771円	25,307円	2.94%	11,835円	10,783円	2.46%	19,145円
増 減	△0.28%	1,338円	148円	0.43%	2,623円	2,014円	0.10%	2,246円
令和6年度(改正税率)	6.52%	27,700円	25,300円	2.94%	11,800円	10,700円	2.46%	19,100円
増 減	△0.28%	1,267円	141円	0.43%	2,588円	1,931円	0.10%	2,201円

問

保険税の改定について、短い期間で少しずつ上げていくのか、基金を使って改定時期を延ばす考えなのか。

答

なるべく保険税が上がらないよう目指しているが、定期的に保険税を上げないと県全体の保険税統一の流れもあり、国保の安定的な財政運営は難しいと考えている。

本会議
での
討論

賛成討論を行った議員 ・佐藤 誠之 議員 ・内野 明浩 議員
反対討論を行った議員 ・有村 博 議員 ・吉居 恭子 議員



本会議での
各討論はこちら



こども医療費の支給に関する条例等の一部改正

こどもの疾病の早期発見及び治療の促進並びに高校生世代までの
こどもを持つ家庭の経済的負担の軽減

変更
こう変わります

《こども医療費》

入院、通院にかかわらず、自己負担相当額を全対象年齢に全額支給
「支給対象年齢」 15歳⇒18歳に変更
「支給対象者」 自分が健康保険の被保険者である高校生世代の児童を追加
※ 重度障害者医療費またはひとり親家庭等医療費該当者は、そちらを優先適用

《重度障害者医療費・ひとり親家庭等医療費》

こども医療費と同様に、18歳に到達する日以後の最初の3月31日まで全額支給に変更

問

医療費助成の拡充により、被保険者の受診行動が変化し受診率の増加が見込まれるため、子どもの保護者に対して、適切な受診を促すような周知・啓発は何か考えているのか。

答

適正受診を促すために、市報での周知のほか、小児救急医療の電話相談などの周知を行っていきたい。

本会議
で
討論が
行われた
議案

【第12号議案】春日市介護保険条例の一部を改正する
条例の制定について
賛成討論を行った議員 ・安部 仰 議員 ・内野 明浩 議員
反対討論を行った議員 ・有村 博 議員 ・吉居 恭子 議員



本会議での
各討論はこちら



令和5年度一般会計補正予算(第12号)

■補正額 1億7,130万7千円減
■歳入歳出総額 402億4,914万円

補正の主な内容

◆かすがふるさと応援寄附金推進事業費 1億4,144万7千円 減額
◆公共施設等包括管理費 1億810万3千円 減額
◆公共施設等整備基金積立金 2億7,300万円 増額
◆新型コロナウイルス予防接種費 3億6,130万5千円 減額

問

地域子ども・子育て支援事業費の病児保育事業について、定員数は決まっていると思うが、需要に対して対応はできているのか。

答

今年度、病児保育の定員については、6名から12名に増やしており、これに伴い利用者も増えているところである。また、県の病児保育事業の広域化により、他市の病児保育施設も利用できるようになっている。

問

商店街活性化事業費について、地域の元気な商店街づくり事業補助金の実績は何件か。また、その内容はどのようなものか。

答

実績は1件である。春日原商店会から申請があり、西鉄春日原駅開業までに4回実施されたミニイベントなどに使用されている。本事業については、より多くの団体に活用して頂けるように見直しを考えている。

都市公園条例の一部改正

公募対象公園施設の設置に伴う規定の整備や、
大南児童遊園を大南公園と変更等

議

【公募設置管理制度(パークPFI)とは】

都市公園において飲食店、売店等の公園施設(公募対象公園施設)の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する手続。パークPFIは、公募対象公園施設の収益見込みなどに基づいて特定公園施設の整備を求めるという特徴から、設置管理許可期間の延伸や建ぺい率緩和など、事業者が設置し、運営しやすくするための法の特例措置が設けられている。

問

白水大池公園にパークPFIの導入を予定しているということだが、その経緯は。

答

白水大池公園は、市民だけでなく、多くの方にご利用頂いているところだが、今後さらに魅力的な公園にするためには行政だけでは難しい部分もあるため、民間事業者の創造性などを導入しようとするものである。

変更
こう変わります

削除	・大谷ふれあい公園
変更	・大南児童遊園⇒大南公園
位置の表示の変更	・上白水公園 上白水6丁目31番地⇒上白水5丁目24番地2 ・神明緑地 岡本3丁目39番地⇒岡本3丁目23番地



大南公園

基本目標 4

春日市の緑の ネットワーク形成について



な す じゅんこ
奈須 純子 議員



問 銀杏の街路樹では実が落ち汚く臭いが街路樹の種類を変える等の考えは。

答 銀杏の実とは適宜落ち葉と併せて清掃を行っている。街路樹は道路ごとに樹木の種類を定める予定。

問 西鉄春日原駅前広場の整備に合わせた緑化計画は。

答 東西の駅前広場はイベントでの利用も想定して移動可能な大型プランターの設置等検討。ロータリーの中心部には草花や低木の植樹予定。

問 公園等での除草剤の使用は。

答 緑の管理において除草剤散布は認めていない。



基本目標 4

交通事故防止 安全対策について



もり やま さ つ き
森山 五月 議員



問 市民の皆さまの命を守る観点から子どもから大人までの自転車利用者に事故防止安全対策として、自転車用ヘルメットの購入促進のため費用を補助することが重要かと考えるが、見解は。

答 自転車用ヘルメットを着用することは大切なことだと認識しているが、現在のところ、購入費の補助については考えていない。自転車ヘルメットの着用促進に向け、今後も継続して周知啓発に努めていく。



自転車用ヘルメット

基本目標2

高校受験における 中学生への対応について



さ こ けん じ
迫 賢二 議員



問 教育委員会として、選択肢が広がる現在の入試制度下における、今後の子どもたちの育成等について、どのように考えるか。

答 多くの同学年生の進学先が確定している中、ラストチャレンジャーとして今まで以上に心理面での負荷が生じているのではないかと、3年生としての学年の一体感がどうなっているのかが大きな課題である。双方をともに充実させ、3年生として残された期間、協働的な一体感の創造に向けた新たな実践に期待している。



基本目標2

健やかな子どもの育ちを 皆で支援する取組は



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問 子ども発達支援室の人員体制強化の効果は。

答 0歳～15歳の成長過程で現れた発達面の心配事や特性への対応方法等の相談支援を行っている。内容に応じ関係機関と連携し子どもや保護者への支援を推進している。開設当初から心理発達相談員、言語聴覚士、特別支援教育相談員等多様な専門職を配置。5年度は就学相談員の配置と心理発達相談員の増員を行い就学相談や発達相談の初動対応等の充実を図ることができ不安軽減につながっている。



今定例会の一般質問は14人です

全15項目の一覧は9ページへ

基本目標 5

令和6年度 施政方針について



なかむら こうぞう
中村 孝三 議員



問 防災体制の充実、震災対策に対しての市民生活の確保、生活用水等の確保の計画をお尋ねする。

答 大規模災害時には西多目的広場公園に仮設住宅建設候補地を、仮設水槽の設置なども想定している。

問 少子高齢化社会の人口減少で財源確保が厳しく財政政策の見直しが必要ではないか。

答 適時、財政計画の見直し起債の借入れや、将来的な負担に対し慎重な財政の健全性の担保を今後も図っていく考えである。



防災ガイドブック

基本目標 5

市民の声を尊重し反映する 市政運営を求める



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 学校での児童生徒や保護者の声の傾聴の中でフリースクールの経済的負担が大きいとの声は聞こえているか。

答 保護者やフリースクール関係者からしばしば聞こえている。

問 フリースクールに通うための経済的支援についての考えは。

答 継続的な財源確保が必要であり現時点では難しい。

問 パブリックコメントの目的である市政への市民の声の反映、意思決定への参加を進めるため要綱を定める必要性を感じるが見解は。

答 その考えは今のところない。



基本目標 4

本市の災害時における 対応について



さ とう まさゆき
佐藤 誠之 議員



問 災害支援業務のDX化について見解は。

答 大規模災害時には、膨大な業務を限られた人材で迅速に対応するためには、効果的に業務を進めていくことは重要なことであると考えている。被害判定業務や罹災証明交付業務におけるDX化については、システム導入に係る経費や更新等の維持管理費が想定されることから、既に導入されている自治体に状況や課題などについて聞き取りを行うなど、情報収集に努めていきたい。



基本目標3

地域共生社会の実現に 向けた取組について



はら かつみ
原 克巳 議員



問 春日市の協働のまちづくりを礎としながら、着実に重層的支援体制整備事業を進めていただきたい。

答 誰もが互いに支え合い、安心して暮らすことができる地域共生社会を目指し、市社会福祉協議会と連携して、これまでつくり上げてきた市民と行政との協働のまちづくりの基盤の上に、自治会や民生委員児童委員、ボランティア、市民活動団体、NPO法人、事業者など様々な関係者と協力しながら、本市独自の重層的な支援体制を構築したい。



令和6年第1回春日市議会 3月定例会の

視点・論点

大きな変化でも無ければ回答が変わることはない。従って既に出された回答を覆そうとするのであれば、視点を改めて質問をすべきではなかったか。

・一問一答式及び一括方式ともに質問と答弁を含めて一人1時間以内に終えるように努め、かつ、議員の質問時間を30分以内にすよう決定した。今後、規則等の改定に取り組む。

・主張や要望を述べた後、答弁を求めず次の質問に移ることは慎むべきであり質問で終わるよう注意したい。

・最終日に一般質問における発言の取り消しを申し出た議員がいたが、当該議員は前回も発言の取り消しを申し出ている。発言には責任が伴うので細心の注意をもつて臨むべきである。

1 討論について

上程された議案や意見書案に対し14名の議員による、延べ23回、時間にして2時間程度を要した。活発な討論は悪いことではないが、会議の効率性等を鑑み、時間の制限について、他の議会の事例も調査研究しながら慎重に検討すべき、という意見や、反対賛成それぞれの立場の議員間で内容の調整等を図り、代表者がおこなうことも1つの方法という意見もあり、今後討論の在り方を検討するに至った。

2 一般質問について

同じ視点での質問が続いたが、事前の議員間調整の不十分さは無かったのか。また、環境等に大

イスラエル・パレスチナにおける 人道的な停戦等の実現に関する決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、尊い人命が深刻な危機的状況にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

2023年12月12日の国連総会では、イスラエルとハマスの双方をはじめ全ての当事者に対し、国際人道法の遵守、全ての民間人の即時かつ無条件の解放を求める、「人道目的の即時停戦」を求める決議案には日本を含む150か国以上が賛成し、賛成多数で決議は採択されたにもかかわらず、民間人の被害が後を絶たない。

「非核平和都市宣言」にもある恒久の平和と安全を求める本市議会は、人道的立場から一日も早い停戦協定実現の上、平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

令和6年3月21日 春日市議会

原案可決

決議しました

地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出しました。

第1号意見書案

若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

【提出者】佐藤 誠之 議員

【要 旨】市販薬の「オーバードーズ(過剰摂取)」が社会問題になりつつある。特に、10代の急増が懸念される。よって、乱用の恐れのある医薬品の販売方法等の見直しとともに、背景に社会的な孤立等があると考えられるため、このような薬物依存による健康被害から若者を守るため、特段の取り組みを求める。

第2号意見書案

不登校児童生徒の教育の機会の確保を求める意見書

第3号意見書案

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

否決

否決

意見書の全文はこちら



意見書の討論はこちら



中学校全員給食の考えと 公共施設運営改善は

基本目標2

基本目標5



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問 中学校給食の予算は食材高騰対策分を含め1食300円で、払う給食費は262円。40%の生徒は300円の恩恵を受けていないが、公平性についてはどうか。

答 一月単位の献立表を周知し各御家庭において判断・選択をし、学校給食に対する経費を市として負担している。

問 利用者の不平等な扱い、危機管理の不足など事業者の報告だけでなく利用者の声を聞き事実を確認して判断・是正・善処するか。

答 指定管理者の施設を利用される方々の意見をきちんと聞いていく。



全15項目の一覧は9ページへ

70億円規模の複合拠点の 市民への効果は？

基本目標5



ありむら ひろし
有村 博 議員



問 市民の利便性や福祉向上の試算は。金額に換算できないため、具体的な試算は行わず。

問 70億円を市民全体の生活改善や地域の発展に直接的に貢献する事業を検討したか。

答 別の選択肢を検討した経緯はない。

問 経済的効果や市民への利益が、他の市民サービスやインフラ整備と比べてどの程度大きいのか。

答 単純に比較することは難しいが、今回の事業は、市政全体から見ても必要性が高く、かつ極めて効果の大きいものと判断。



新たな複合施設の鳥瞰イメージパース

防犯に配慮した公園と インクルーシブな整備

基本目標4



にしむら すみこ
西村 澄子 議員



問 防犯カメラの設置とトイレの管理体制は。市内69か所の公園の内15か所に設置。専門業者と業務委託契約を締結し、定期点検、録画データの回収、故障時の修繕等に迅速に対応できる体制。

問 照明の設置基準は。通路部分を効果的に照らすよう設置し、位置や構造を決定している。

問 ユニバーサルデザインを採用したインクルーシブパークのような視点は。

答 公園整備において重要な視点。単体の遊具をインクルーシブな複合遊具に進めて行くところ。



出典：福岡市「インクルーシブな子ども広場」イメージパース（百道中央公園）

協働のまちづくりの 推進について

基本目標5



たなか たかし
田中 隆志 議員



問 自治会加入率アップへの新たな取組、公共施設のWi-Fi整備は。

答 新たな取組として、春PASSがある。Wi-Fi整備については、引き続き検討。

問 コミュニティ・スクールを活用して自治会と保護者のつながりを強くするため、補助金等でサポート、デジタル化を進めることを各自治会が選択できる体制整備は。

答 地域コーディネーターが、実働を下支えする仕組みをさらに充実。補助金は難しい。デジタルの活用については十分に研究する。



令和5年

議会評価

春日市議会では、
議会基本条例第5
条に規定する市議
会の評価を毎年3
月に行っています



春日市議会
基本条例



春日市議会
評価実施要綱

評価対象 1月～12月における議会基本条例に基づく議会の活動

評価手順 1年間の議会の活動や市議会アンケート結果(⇒下欄参照)などを踏まえ、評価項目ごとに達成度、方向性、今後の取り組みを議会運営委員会で協議し、決定します。

評価項目 ①議会評価 ②情報公開および市民参加 ③議会報告会
④議員の政策立案能力等の向上 ⑤事務局体制の充実

令和5年度 議会評価表

評価項目	進捗状況	評価 達成度	活動の内容、成果、課題	評価 方向性	今後の取組
議会評価	議会 評価の 公表	○	議会評価については議会だよりやウェブサイトにより公開している。モニター制度や議会アンケートなどの外部評価手法の検討を始める。	継続	外部評価に向けた手法を検討していく。
情報公開 及び 市民参加	会議の 公開	○	YouTubeでの本会議ライブ配信は定着している。インターネットを活用した委員会の動画配信については継続して研究する。	継続	インターネットを活用した委員会の動画配信について予算が必要になる点を考慮し、実施に向けて調査研究を引き続き行う。
	議員の 賛否の 公開	○	本会議の中継、録画配信の映像は、全議員の表決が分かるよう撮影されている。「議会だより」にはすべての議案に対する採決結果一覧を掲載しているが、非常に見づらくスペースを取っている。今後、賛否が分かれた議案のみ掲載するなど、市民にとって分かりやすい紙面へと検討は継続する。	継続	市民に分かりやすく伝わりやすい手法を研究し検討していく。
	会議録・ 委員会記録 の公開	○	会議録、委員会記録共に、紙媒体及びインターネットを通じて公開されている。	継続	今後も公開の迅速化と職員の負担軽減及び業務の効率化に向けた研究を継続する。
	公聴会および 参考人制度 の活用	△	公聴会及び参考人の活用を要する議案審査等はなかった。	拡充	必要時にいつでも活用できるよう、要綱等の整備を進める必要がある。
議会 報告会	報告会の 充実	○	対面とオンラインで年2回の開催を実施した。幅広い層の市民が参加できるよう、市議会の認知度やイメージの向上及び興味や関心を喚起するための手立てを検討中。	継続	アウトリーチ型の傾聴に特化した報告会も行えるよう協議を進める。
	報告内容の 充実	○	常任委員会からの報告は閉会中の所管事務調査についておこない、その内容もウェブサイトへ公開している。	継続	今後も、市民にとって親しみのある、分かりやすい報告を継続する。
	意見交換の 充実	○	テーマ設定によって参加者のターゲットを絞ることなど研究・検討するとしていたが市内2中学校に主権者教育の一環として傾聴できたことは有意義だった。	継続	全中学校に実施してもらうよう鋭意努力中であり、継続して取り組む。また、意見交換等で得た市民の声を議会活動に反映させる仕組みを検討する。
議員の 政策立案 能力等の 向上	政務 活動費の 有効活用	○	前年度、社会の変化に対応した 議会活動が行えるよう使途基準の見直しを行うとしていたの で見直しを実施した。	継続	今後も政務活動費の目的や用途を念頭に置きつつも、社会の変化に合わせ、適宜柔軟に 使途基準の見直しを行っていく。
	議員研修の 実施	○	今年度人權研修を1回実施。事務局による内部研 修も実施した。政務活動費の活用など外部講師に よる研修の実施はおこなっていない。	継続	人權研修は議会として継続する必要性が大 きい。しかし、人權の学ぶ内容に応じて講師 の方をお呼びするリストの情報収集を充実 しなければならないと考える。
事務局 体制の 充実	議場・ 委員会室等 の整備充実	△	一般質問で使用するフリップの視認性に課題が あるとしていたが検討はしていない。議会の ICT 化に伴う通信環境の整備ができた。	継続	費用対効果も含め引き続き研究・検討を進 める。
	事務局の 機能強化	○	執務能力の高い職員を配置し、的確に職務を遂行 していることは評価できる。	継続	今後も、人事異動に際しては適性と能力を 十分考慮した職員配置を行う。

「○」→ 概ね一定の水準にある、 「△」→ 一部水準に達していない、 「×」→ 取組が必要
「継続」→ 手法・内容等の更なる充実を図り、引き続き取り組む。 「拡充」→ 手法・内容等の見直し(拡充等)を行い、取り組む。 「改善」→ 手法・内容等を大幅に見直し、取り組む。

議会閉会中の活動

1・2月に行われた、
2つの常任委員会の
先進地視察について
報告します。



総務企画委員会視察報告

視察者 岩淵委員長 西川副委員長 中村委員
高橋委員 船久保委員
奈須委員 有村委員

千葉県 我孫子市	シティプロモーションの取組みについて
埼玉県 北本市	シティプロモーション及びふるさと納税 寄附額拡大の取組みについて
神奈川県 横須賀市	ふるさと納税寄附額拡大の取組みについて

4月16～18日の3日間、千葉県我孫子市、埼玉県北本市、神奈川県横須賀市への視察は、総務企画委員会の所管事務調査として、大変参考となった。各視察先の良さを取り入れ、春日市の特性を踏まえた「シティプロモーション」「自主財源確保、ふるさと納税寄附拡大」の取組みへの具体的、実践的な提言となるよう協議を行い、取りまとめたい。



市民共生委員会視察報告

視察者 北田委員長 吉居副委員長 米丸委員
内野委員 佐藤委員 安部委員

埼玉県 志木市	健康寿命伸ばし マッスルプロジェクトについて
神奈川県 相模原市	民生委員協力員制度について

市民共生委員会では、2月1日に埼玉県志木市で「健康寿命伸ばしマッスルプロジェクトについて」、2月2日に神奈川県相模原市で「民生委員協力員制度について」の視察を行い、健康づくりや民生委員協力員制度に関して大変参考となった。



佐賀県 鹿島市	民生委員協力員制度について
------------	---------------

また、同委員会は、2月14日に佐賀県鹿島市で「民生委員協力員制度について」視察を行い、鹿島市の民生委員協力員制度の知見を深めた。



会派の構成・議席 議会運営委員会委員が変わりました

議員の所属会派の変更などに伴い、会派の構成・議席・議会運営委員会委員が変更になりました。会派の構成・議会運営委員会委員は下記のとおりです。

令和6年4月1日現在

会派の名称	代表者	所属議員
公明党	高橋 裕子	原 克巳、森山 五月 佐藤 誠之
翔春会	船久保 信昭	迫 賢二
春令会	西村 澄子	中原 智昭
創政会	松尾 徳晴	米丸 貴浩
さんかく春日	西川 文代	北田 織
春陽会	岩淵 穰	安部 仰
明社会	田中 隆志	奈須 純子

会派に所属しない議員

中村 孝三、吉居 恭子、内野 明浩、有村 博

議会運営委員会

委員長 高橋 裕子
副委員長 船久保 信昭
委員 松尾 徳晴
西村 澄子
西川 文代
岩淵 穰
田中 隆志

※委員は各会派の代表で構成
されています。

議席一覧表など
詳細はこちら





うらた ともこ
浦田 智子さん
(昇町在住)

応募のきっかけ

日頃、別々のチームで活動している春日市スポーツ少年団の団員たちで構成された交流チーム。練習するうちに仲良くなり、見事優勝と3位になりました。そのような春日市スポーツ少年団の交流事業の良さを知っていただきたくて応募しました。

春日市のここが好き

春日市は、学校と地域と家庭が協力し合うコミュニティ・スクールがあり、我が子も地域の方の見守りやさまざまな交流の中で成長しました。地元が県外の私にとって、すごくありがたく温かい場所です。

また、最近では西鉄が高架になったり、特急が停まるようになったり、アクセス面でも便利になり、お店や病院、公園なども充実していてとても住みやすいです。



春日市スポーツ少年団の皆さん

春日市議会のここに期待します

日頃から、困ったことや意見に耳を傾けていただき大変感謝しています。これからも、市民との対話を大切にし、春日市を元気で明るく魅力のあるまちにしていきたいです。

会期日程 令和6年6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
				本会議 (提案説明) 議会運営委		
9	10	11	12	13	14	15
	本会議	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報特別委	常任委員会 (審査)		
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 (一般質問)		常任委員会 (採決) 広報特別委	議会運営委 常任委員会	常任委員会	
23	24	25	26	27	28	29
	本会議 (採決)					

※日程は都合により変更になることがあります。

あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。



次号218号は募集を停止します。

219号からは募集を再開します。
募集詳細は次号218号に掲載予定です。

広報特別委員会
委員長 西村 澄子
副委員長 安部 仰昭
委員 中村 智昭
委員 有村 博

いろいろ
議会だよりに掲載している内容は、議会活動の中でも特に、市民の皆さんに伝えたいことを掲載していますが、全ては伝えられません。
情報を広く公開していくことは市民の皆さんの公益にとっても、議会の透明性という意味でも重要です。
議会だよりには掲載されていない情報も、ホームページ、YouTubeやSNSでも発信しています。また各議員はそれぞれの活動の発信を行っています。
市民の皆さんの声はとても重要です。議会だよりをはじめ、春日市議会の情報を受け取っていただき、よりよい市政を作るご意見をいただきたいです。その為の情報発信を、議会として行っています。
有村

かすが議会だよりへご意見をお寄せください